

総務常任委員会

- 委員長 平一郎
 委員 田中 綾子
 副委員長 沼田 美子
 委員 柿沼 喜え子
 委員 金子 好輝
 委員 小暮 猛
 委員 田中 林
 委員 小田 明堂
 委員 明堂 純子

本年、第1回定例会において、当委員会で審査された14議案のうち、主な質疑は次のとおりです。

○本市行政不服審査会条例

問：今回の行政不服審査会と従来の情報公開・個人情報保護審査会は、どのようなところが変わるのか伺いたい。

答：これまでの情報公開・個人情報保護審査会では、情報公開や個人情報に係る処分に対する審査を行っていましたが、今回、設置する行政不服審査会は、不服申立手続が審査請求に一本化されたことから、これまでの情報公開等に係る処分も含め、審査請求について、市長の裁決の公正性を高めるため、調査審議を行う機関として位置づけられます。

○平成27年度一般会計補正予算

問：地方創生加速化交付金1456万円をどう使うものにか伺いたい。

答：この交付金の目的は、しごと創生、地方への人の流れ、働き方改革、まちづくり重点を置いたものです。本市では、その中のまちづくり重点を置いて、観光関係を中心に、絹産業関連遺産等の調査・整備や観光案内板等の整備を行おうと考えています。

○平成28年度一般会計予算

問：婚姻や出生の記念品として広報を贈呈するということですが、具体的にどのようなことか伺いたい。

答：婚姻届や出生届を提出された方に記念写真のデータを提出していただき、記念日の月の広報ほんじょうの表紙写真を記念写真に入れ替えて、記念品として贈呈するサービスを計画しています。

問：埼玉県衛星系防災無線再整備について、詳しく説明をいただきたい。

答：埼玉県の防災行政無線には、地上系と衛星系の2種類があります。このうち衛星系の防災行政無線が15年経過し、設備の老朽化が進行しているため、県内で平成27・28年の2カ年で、受信機等を交換するもので、本市は、平成28年度に新しいものと交換することになります。

建設産業常任委員会

- 委員長 雅寿
 委員 田中 高志
 副委員長 巴 信清
 委員 岩崎 裕司
 委員 早野 富清
 委員 林 志薫
 委員 山口

今定例会では、4月から始まる平成28年度の予算と、そのほかに市道路線の廃止と認定、平成27年度の補正予算などの議案が提出されました。

○市道路線の廃止と認定

今回は、68路線の廃止と76路線の認定が提案されました。これは住宅開発や児玉南土地区画整理事業等により、以前あった道路を廃止し、新しく造った道路を市道として認定するものです。当委員会では現地にいき、担当職員から説明を受け、全ての路線について廃止と認定を認めることとしました。住宅開発や区画整理については、



市道(児玉南土地区画整理)

新しい住宅ができ、人口増加にもつながることなので、新しく暮らす方々の生活道路が不便ではないことを確認しました。

○平成27年度一般会計補正予算

住宅用太陽光発電システム設置補助金や新規就農総合支援事業費補助金、土地改良推進事業等、予算を減額するものが多く提出されました。なぜ予算に余りが生じたのか、担当職員より説明してもらい内容を確認し、全て提案のとおり可決すべきものと

しました。

○平成28年度一般会計予算

それぞれの事業について担当職員から説明を受けた後、特に前年度や例年と比べ多くなった予算や、初めて提案された事業等について質疑し、内容を確認しました。紙面の都合で主な質疑・説明のみ紹介します。観光協会への補助金を増額した理由については、「ゆるキャラグランプリで、はにぼんを支援してもらい、本市の知名度を上げるために使ってもらおう」と説明がありました。また、公園等の指定管理委託料が増加したことについては、「人件費の高騰が大き」と説明がありました。

採決の結果、全て提案のとおり可決すべきものとしました。当委員会で審査したもので、特に市民生活に直結する事業には左記のものがありました。

- 有害鳥獣駆除事業、集団資源回収事業、資源ごみ分別回収事業、生活排水処理施設設置補助事業、環境調査分析事業、観光振興計画策定業務、道路パトロール業務、バリアフリー推進事業、道路改良事業、橋梁修繕事業、公園整備事業等。



資源ごみ分別回収

〈その他予算化された主な事業〉

- 消防ポンプ車2台の入れ替え
- 消防団員へ救助用編みあげ半長靴の貸与
- LED防犯灯3800本の交換

衛星系防災行政無線

厚生文教常任委員会

委員長 仲一 伸
副委員長 長 達夫
委員 清水 静子
堀口伊代 光津子
柿沼美津 和
町田美津 和
高橋 和

3月1日・2日の2日間にわたり委員会を開催し、付託議案10件を審査しました。主な質疑の内容は次のとおりです。

○本市いじめ問題対策連絡協議会等設置 条例

問：いじめ防止対策推進法では、地方自治体の責務として、いじめ防止基本方針等の計画の策定が規定されている。この条例との関連性について説明を求めます。



答：いじめ防止基本方針等の計画については、今後、教育委員会と市長部局で連携して策定していく予定です。この条例で設置する協議会等の委員にもご意見をいただきながら、よりよい計画を策定していきたいと考えています。

○平成27年度国民健康保険特別会計補正予算

問：一般会計からの繰入金が増額に関して、療養給付費と高額療養費の増加の原因について説明を求めます。

答：原因については分析しているところで

すが、昨年度に承認されたC型肝炎の新薬による治療が高額であることが原因のひとつとなっています。

○平成28年度本市一般会計予算

問：新規事業の、ほんじょう健康相談ダイヤル24の仕組みについて説明を求めます。

答：ほんじょう健康相談ダイヤル24では、24時間いつでも電話相談ができます。本市分として割りあてられた専用回線に電話していただく、医師、看護師などの専門スタッフが相談内容に応じて対応します。内容としては、救急医療、子育て、介護など、幅広く相談を受けることを想定しております。



問：小学校施設整備事業に関して、小学校のトイレ改修の予定を伺う。

答：来年度から、トイレの大規模改修を進める予定です。平成28年度は、まず児玉小学校についてトイレ改修の設計業務を委託し、平成29年度にトイレ改修工事を行う予定です。順次、各小学校のトイレ改修を進める計画です。

17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会

委員長 富司
副委員長 長 代子
委員 堀口伊代 志
巴 静子
清水田平 雅寿
富田 一郎
高橋 和美
青木 清志

【目的】

本特別委員会は、平成4年12月議会において設置され、国道17号バイパス及び幹線道路の整備を目的に取り組んでおります。

【現状】

17号バイパスは、平成21年2月に都市計画決定され、埼玉県深谷市岡から群馬県高崎市新町までの、13・1キロメートルをバイパスとする計画です。この道路は、本市及び周辺地域の交通渋滞の緩和、交通事故の発生防止、災害時の緊急輸送路の確保等、地域の経済的自立と活性化のため、本市にとってなくてはならない道路です。



公明党 埼玉県本部

現在、本市沼和田から高崎市新町間の、7キロメートルについて、事業が進められておりますが、国道462号から東の深谷市岡までの6・1キロメートルについては、いまだ事業化されておられません。この未事業化区間の事業化もあわせて、予算獲得に向けて本市議会を挙げて取り組んでおります。この事業は本市にとって悲願であり、早期実現、早期開通を目指しております。現在、埼玉県側では、用地買収の準備が進められています。

【活動内容】

特別委員会では、定例会ごとに要望活動等をしており、関係機関への要望活動や現地視察を行っております。主な訪問先は、埼玉県県土整備部、大宮国道事務所、関東地方整備局、国土交通省、財務省、自由民主党埼玉県支部連合会及び自由民主党本部、並びに公明党埼玉県本部です。

去る3月7日、政権与党である公明党埼玉県本部、自由民主党本部への要望活動を行いました。公明党埼玉県本部では、西田実仁代表に、また、自由民主党本部では、下村博文副幹事長に應對していただき、17号バイパスの現状を訴え、一日も早い開通を目指して、現区間への予算の確保、また未事業化区間の早期の事業化について強く要望しました。一日も早い開通に向けて、未事業化区間の事業化とともに予算の獲得を目指し、市議会一丸となって、関係機関へ積極的に働きかけていきます。

※平成28年度、国道17号バイパスについて、国の予算として総額11億5000万円が計上されました。



自由民主党 総裁応接室